

令和6年度 現職教育「実践記録部」の成果と課題

1 実践記録部の活動について

- (1) 低学年、中学年、高学年ブロックに分かれ、授業写真や動画撮影、参観用紙作成、事前・事後研究会記録を行った。
- (2) 研究授業に関わる資料の記録、保管(教室環境や授業に関する掲示等の写真)を行った。
- (3) 道徳に関する掲示コーナーの作成(ありがとうの木)を呼びかけ、前期・後期で葉の色を変えて掲示した。

【設置の実際】

前期の木

ありがとうの木

やさしくしてくれて
ありがとう。

4年生 ありがとうの木

1年生 ありがとうの木

友達に「ありがとう」を伝えると、いい気持ちになるね。「ありがとう」と言ってもらえるのもうれしい！

この友達は、こんないいところがあるんだね。「ありがとうの木」があって知ることができたよ！

後期の木

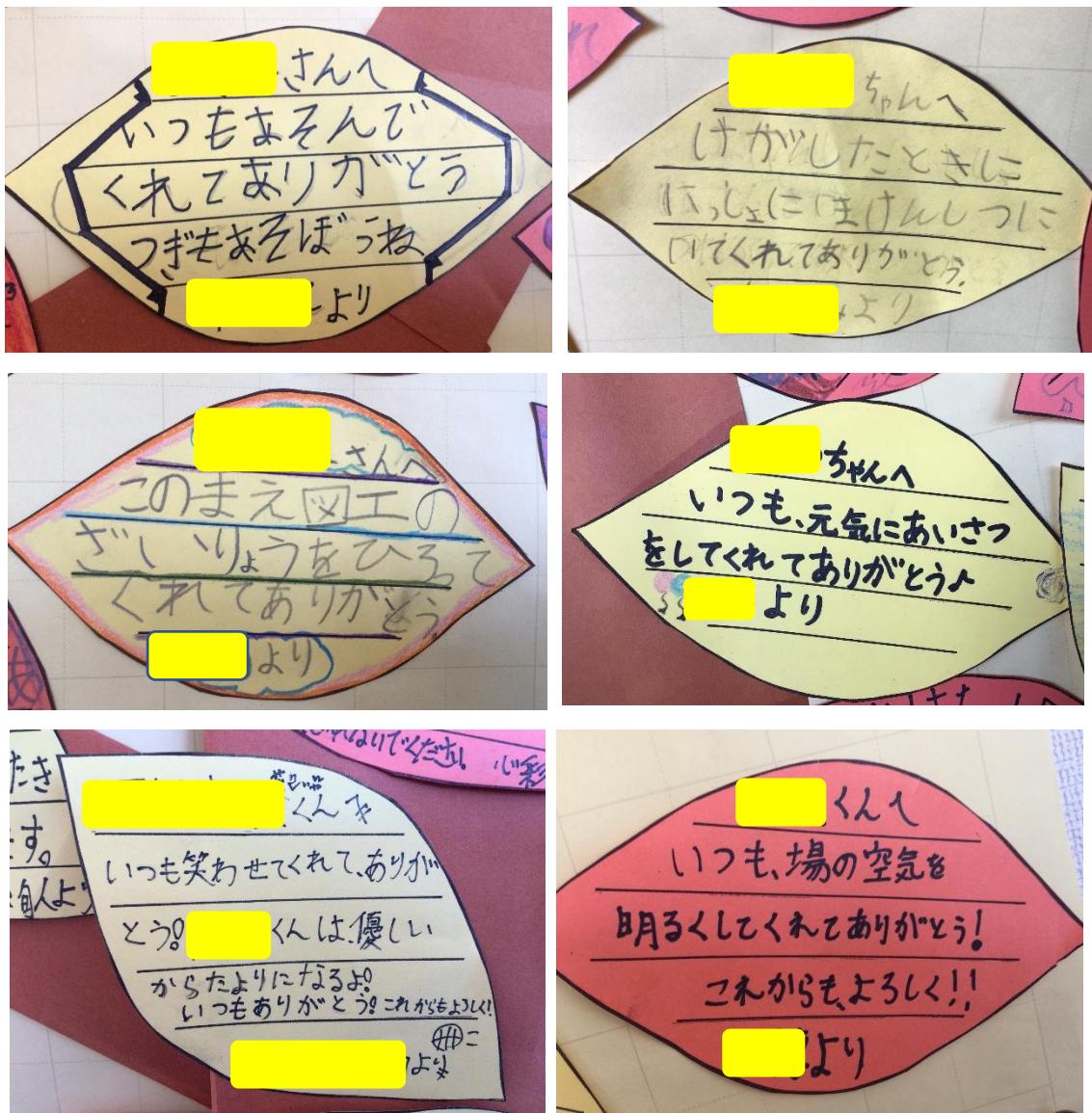
2年生 ありがとうの木

前期は「授業参観」で、後期は「フリー参観」で保護者のみなさんにも「ありがとうの木」を見ていただきました。

3年生 ありがとうの木

この友達は、こんないいところがあるんだね。「ありがとうの木」があって知ることができたよ！

各学年のありがとうのメッセージ



2 成果と課題 (○成果)

- 部員で分担して活動し、実践記録を積み重ねることができた。
- 「ありがとうの木」を2回行ったことで、児童自身が自分たちの変容や友達のよさに気付くことができた。
- 道徳の授業で考えたことを実践したり、認め合つたりできた。また、道徳的心情を育てる場にもなった。
- 揭示準備を計画的に行つたため、負担なく実施することができた。

